

5 学校保健・学校給食（私立学校を除く）

（1） 学校保健について

イ 健康診断の適切な実施に向けた対応

児童生徒等の健康診断は法令により毎学年6月30日までに実施することになっているが、被災の大きな学校においては当該期日までの実施が難しかったため、それを過ぎた実施を認め、宮城県医師会や検診委託業者と連携の下、状況に応じた対応を図った。

ロ 学校環境衛生について

- ・ 被災した学校の再開について、学校環境衛生基準に基づき、学校薬剤師の指導のもと、保健所の協力も受け衛生管理に努めるよう周知を図った（4月）。
- ・ 財団法人日本学校保健会より、消毒用固形塩素剤を被災にあった県立学校と小中学校を対象に、希望校へ無償で提供した（7月）。

ハ 心のケアの研修会の開催

学校再開に向けて、被災した子どもたちへの対応や、心のケアの基礎知識を学ぶため、管理職や学校保健担当職員を対象とした研修会を4月15日に実施した（参加者数：約300人）。

ニ 健康課題を解決するための研修会の開催

平成23年度子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業（文科省委託事業）を活用して、学校や地域が抱えている健康課題を解決するために、児童生徒や教職員及び保護者等を対象にした研修会を開催した。今年度は震災対応に限ったテーマに絞った結果、心のケア42校、命の教育5校、歯科衛生指導1校、放射能と健康5校（地域）の活用があった。

ホ 保健衛生用品の提供について

4月から9月にかけて全国及び各NGO団体等から被災した学校等に次のとおり保健衛生用品の提供があった。

- ・ 衛生用品1…マスク（100万枚）・消毒ジェル（20,000本）・うがい液（5,000本）を県内の小中高に配送（4、5月：日本ユニセフ協会、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンから配送の協力）
小学校450校、中学校216校、高校83校、特別支援学校20校 計769校
- ・ 救急用具…救急箱・救急バックのセットを被災に合った13市町村の小中学校全部に支援（5、6月：日本ユニセフ協会、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）
小学校127校、中学校70校 計197校
- ・ 衛生用品2…日本学校歯科医会と県歯科医師会より歯ブラシ〈13,308本〉、デンタルミラー〈4,000本〉、歯科探針〈500本〉、『被災時の歯・口の対応マニュアル』〈230冊〉、『歯科保健パネル』〈154冊〉、日学歯のパンフレット本〈1,200冊〉、舌みがきタブレット〈4,000個〉、歯みがき用ガム〈7,560個〉を被災した県内の学校に支援（5～7月）
また、日本赤十字社島根県支部より歯科探針〈200本〉、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンよりプラスチックコップ〈1,000個〉を被災した学校に支援
- ・ 衛生用品3…消毒ジェル『手ピカジェル』を県内の幼小中に〈18,000本〉を支援
778校（県内 幼・小・中）（6月：健栄製薬株式会社）
- ・ 生理用品…災害対策本部の依頼により県立高校及び市町村教育委員会と連絡調整
公立高校5校（7月）

- ・ 鼻鏡（健康診断器具）・・・日本赤十字社島根県支部から提供（500本）。サイズ大を宮城県農業高校あて、サイズ小を南三陸町教育委員会あてに直送（6月）
- ・ 保健室備品…身長計・体重計・ベッド等 11品目から今すぐ必要な物を被災にあった 13市町村に支援（7～9月：日本ユニセフ協会・日本赤十字社）

幼稚園 1校、小学校 76校、中学校 50校、高校 9校 計 136校

（2） 学校給食について

イ 震災後の対応等

現状把握の必要があったため、4月7日に、給食施設被害状況等の調査を行った。また、甚大な被害のあった地域へ訪問し、状況確認や抱えている課題など聞き取り調査を行った。

その情報をもとに、財団法人宮城県学校給食会や農林水産部畜産課と連携し、給食施設の被害等が大きく給食の提供が困難であっても、簡易給食としてパンと牛乳については、確実にすべての学校に届けられるよう、連絡調整を図った。市町村からの問い合わせにも応じながら、給食再開に向けて調整を行った。また、支援団体と市町との連絡調整を行い、必要な支援が行き届くよう調整した。

【使用不能となった給食施設】

- ・ 津波により使用不能となった施設（5施設）
山元町立山下第二小学校、山元町立中浜小学校、石巻市湊学校給食センター
石巻市渡波学校給食センター、南三陸学校給食センター
- ・ 地震被害で使用不能となった施設（5施設）
大崎市古川東中学校、七ヶ浜学校給食センター、登米市米山学校給食センター
登米市石越学校給食センター、東松島市鳴瀬学校給食センター

ロ 学校給食再開時の状況等

完全給食への回復状況は、5月末で 76.5%、6月末で 88.2%、7月末で 91.2%と改善していった。完全給食を行っている市町の中には、市町内の施設間での融通、近隣市町村からの応援、外注弁当の活用等の対応が行われたところもある。また、完全給食まで回復していない市町においても、6月以降は1品以上のおかずの提供が行われていた。

夏休み中、施設被害が大きかった七ヶ浜町、石巻市、南三陸町から、今後の方針や課題等について聞き取りを行い、再度支援の方法などについて検討した。

夏休み明けには、女川町の被災調理場の復旧（夏休み前は、1施設で町内すべての完全給食を賅っていた）、石巻市の大規模修繕（1施設）の終了に伴い、両市町の給食内容の更なる充実が図られた。また、南三陸町は、2年前に閉鎖した合併前の施設を仮設調理場として整備し、汁物の提供が可能となった。加えて、被災した炊飯委託業者の復旧や協力体制の整備などにより、県内全ての地域でのごはん給食の実施が可能となった（パン給食は、学校開始当初から全地域で実施可能となっていた）。

【取組事例】

- ・ 七ヶ浜町…中学校 2校分については、多賀城市からの完全給食提供
小学校 1校分については、松島町からの完全給食提供
小学校 2校分は外注弁当対応

- ・石巻市…市内6施設中4施設で給食実施。各施設，被災前の約2倍の食数を受け持ち「主食＋牛乳＋調理したおかず2品」の提供。献立の工夫により栄養バランスに配慮。
- ・南三陸町…仮施設で「主食＋牛乳＋支援のおかず弁当＋調理した汁物1品」の提供

ハ 団体からの主な支援

(イ) 学校給食物資開発流通研究協会

県内5市町，1施設，1県立高校に給食用デザートは無償提供

(ロ) セーブ・ザ・チルドレン

山元支援学校…給食再開までの弁当と牛乳の無償提供

石巻市…補習授業の際の補食。マイ食器と持ち帰り用袋トレイなどの提供

東松島市…完全給食再開まで，金曜日に軽食の無償提供

七ヶ浜町…外注弁当校への飲み物無償提供。1学期間，午前授業学年へ軽食の無償提供

(ハ) ワールドビジョン・ジャパン

南三陸町…週1回ごはん付き弁当，週4回おかずのみ弁当の資金援助

(2学期からは，週4回のおかずのみ弁当の資金援助)

児童生徒用スプーンとはしセットの無償提供

仮設センターの備品など給食再開にかかる費用支援

(ニ) 日本ユニセフ協会

女川町…女川一小調理室の修繕，備品などの費用支援。

(ホ) 日本赤十字社

石巻市と県立支援学校3校への給食用備品の提供